

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●NHKマイルカップはクラリティスカイが親子V達成

5月10日(日)の2回東京6日・第11レースとしておこなわれたNHKマイルカップ(G I)ではクラリティスカイ(牡3歳/栗東・友道康夫厩舎)が勝利しました。同馬の父クロフネは2001年のNHKマイルカップ勝ち馬で、親子制覇はレース史上初のこと。またこの勝利でクロフネ産駒のJRA通算勝利数は1000勝に到達しました。これはJRA史上16頭目の記録となります。

●柴山雄一騎手が通算400勝、吉田豊騎手が通算1100勝を達成

5月9日(土)の2回東京5日・第4レースではジェイケイライアンが1着となり、同馬に騎乗した柴山雄一騎手(美浦・フリー)は、現役33人目となるJRA通算400勝(6993戦目)を達成しました。翌10日(日)の2回東京6日・第5レースではレーヌドブリエが1着となり、同馬に騎乗した吉田豊騎手(美浦・フリー)は、史上27人目、現役では12人目となるJRA通算1100勝(1万3778戦目)を達成しました。

●ハープスター、ホエールキャプチャらの競走馬登録抹消

2014年の桜花賞(G I)勝ち馬ハープスター(牝4歳/栗東・松田博資厩舎/JRA通算9戦5勝・海外2戦0勝)、2012年のヴィクトリアマイル(G I)勝ち馬ホエールキャプチャ(牝7歳/美浦・田中清隆厩舎/JRA通算29戦7勝・地方1戦0勝)のほか、2012年のマーチS(G III)勝ち馬サイレントメロディ(牡8歳/美浦・国枝栄厩舎/JRA通算34戦7勝・地方1戦0勝)、2012年のさきたま杯(浦和・Jpn II)勝ち馬セイクリムズン(牡9歳/栗東・服部利之厩舎/JRA通算34戦9勝・地方26戦7勝)、2010年のサウジアラビアロイヤルC富士S(G III)勝ち馬ダノンヨーヨー(牡9歳/栗東・音無秀孝厩舎/JRA通算38戦6勝)は、5月13日(水)までに競走馬登録を抹消されました。ハープスターは北海道安平町のノーザンファーム、ホエールキャプチャは北海道新ひだか町の千代田牧場にて繁殖馬となり、サイレントメロディは宮城県山元町の山元トレーニングセンターにて乗馬、セイクリムズンは種牡馬(繋養先は未定)、ダノンヨーヨーは北海道苫小牧市のノーザンホースパークで乗馬となる予定です。

●モンゴル大統領が東京競馬場に来場

モンゴル大統領のツァヒヤール・エルベグドルジ閣下が、5月23日(土)の2回東京9日に東京競馬場へ来場されることとなりました。これにともない、当日のメインレースは名称をメイSから「モンゴル大統領賞」に変更のうえ実施されます。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●木之前葵騎手(愛知)がイギリスの女性騎手競走で優勝

5月9日にイギリスのリングフィールド競馬場で実施されたファティマ・ピント・ムバラク妃殿下レディースワールドチャンピオンシップ第8戦(オールウェザー1600m)に招待された愛知の木之前葵騎手は、4番人気のマンオブドリームズに騎乗して途中から先頭に立って逃げ込み、海外初騎乗で初勝利を収めました。

●牝馬ハナノパレードが駿蹄賞を圧勝、各地の主要3歳重賞

駿蹄賞(5月5日、名古屋、1800m)は、先手を取った単勝1.5倍で断然人気のハナノパレード(牝、父ゴールドヘイロー)が後続を8馬身引き離し、スプリングCに続く重賞勝ち。やまびこ賞(5月3日、盛岡、1800m)は、逃げたスペクトル(牡、父スニツェル)が2着馬に1秒9の大差を付け、単勝1.2倍の支持に応じて3度目の重賞制覇を果たしました。東京湾C(5月6日、船橋、1700m)は、2番手から直線に入って間もなく先頭に立った5番人気のドライブシャフト(牡、父トワイニング)がそのまま押し切っています。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●フランス2000ギニーはメイクビリーヴが逃げて圧勝

仏2000ギニーのプールデッセデブーラン(G I、芝1600m)は5月10日、パリのロンシャン競馬場に18頭が出走して行われ、2番人気のメイクビリーヴ(牡3歳、父マクフィ)が逃げて差を広げ、外から追い込む人気薄のニューベイに3馬身の差をつけて圧勝しました。これで4戦3勝、重賞初勝利。1番人気のハイランドリール(アイルランドのA. オブライエン厩舎)は6着。稍重の勝ちタイムは1分36秒85。勝利騎手O. ペリエ。調教師A. ファーブルは2頭出して1、2着独占。馬主はサウジアラビアのA. ファイサル殿下。

●フランス1000ギニーは1番人気のエルヴディアが差し切る

仏1000ギニーのプールデッセデブーリッシュ(G I、芝1600m)は、仏2000ギニーの2レース後に行われ、エルヴディア(牝3歳、父シユニ)が外から差して快勝しました。これでG 3・2勝を含め7戦5勝。吉田勝己氏のフォンテンリースは逃げて4着。レースは14頭立て。稍重の勝ちタイムは1分36秒48。勝利騎手C. スミヨン。調教師J. ルジェ。馬主アガ・カーン4世。